

施策評価シート（平成27年度の振り返り、総括）

作成日

平成28年

07月

06 日

施策 No.	7	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7151
関係課名	文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、社会福祉課		

[illegible][illegible]

施策の成果向上に 向けての 住民と行政との 役割分担	・市民は、生涯にわたり自主的・積極的に生涯学習に取り組む。 ・行政は、生涯学習に係る事業を総合的、効果的に推進するため、関係機関の相互連携と協力を図り、市民の自主学習の進展に努める。また、講座等を通じて生涯学習のきっかけをつくり、自主活動団体としての活動を支援していくために、学習機会や学習の場の提供と学習環境の整備を進める。
---	--

27年度の
評価結果

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

（１）施策成果の時系列比較（過去３年間の比較）

- ・市民意向調査では、学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合は、平成２５年度が２７．０％、平成２６年度が２５．２％、平成２７年度が３０．１％で、前年度と比較すると４．９ポイント増加した。
- ・生涯学習に関する市民講座数は、平成２５年度が１３３講座、平成２６年度が１４９講座、平成２７年度が１８２講座で、前年度と比較すると３３講座増加した。
- ・市民講座の参加延べ人数は、平成２５年度が１２，７８６人、平成２６年度が１２，９６３人、平成２７年度が１３，０９７人で、前年度と比較すると１３４人増加した。
- ・生涯学習のさらなる推進を図るために、「出前講座」を平成２１年１２月から開始した。実施した講座数は、平成２５年度が１２９講座、平成２６年度が１４１講座、平成２７年度が１５８講座で、前年度と比較すると１７講座増加した。
- ・出前講座の参加延べ人数は、平成２５年度が２，９２３人、平成２６年度が３，４１４人、平成２７年度が３，６８９人で、前年度と比較すると２７５人増加した。

（２）近隣他市との比較

- ・県内各市の生涯学習に関する講座数や参加者数については、講座の実施機関や実施方法等が様々であるため単に比較することは難しい。なお、県内各市の出前講座は、大田原市を除く１３市で実施している。本市の出前講座メニュー数は１３９講座で１３市中で３番目に多く、実施回数も多い順から５番目で、高い位置にある。参加人数は多い順から７番目である。

補足説明参照：出前講座の県内状況の一部など

（３）住民期待水準との比較

- ・今後のまちづくりに力を入れてほしい施策で「生涯学習の推進」の割合は、平成２５年度が８．５％、平成２６年度が８．６％、平成２７年度が７．３％で、１．３ポイント低下した。

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

- ・生涯学習をさらに推進するために、生涯学習課、図書館、文化課、スポーツ振興課、科学教育センター、社会福祉協議会で合計１８２講座の市民講座を実施した。
- ・市民講座の参加者の状況は、「初心者英会話」・「はじめての韓国語」・「茶道」等の講座は、約８割が女性で、料理関係の講座は、１４講座開設し８割以上が女性であった。男性を対象とした料理講座を１講座開催した。高齢者対象講座は、「シニアブレット」、「はじめての野菜作り」等の４講座を開設し、参加者の好評を得た。また、親子対象講座は、「キッズ英会話」、「キャラ弁づくり」、「楽しい工作」等の１１講座を開設した。
- ・出前講座は、メニュー内容の充実を図り、平成２７年度は１３９講座とした。
- ・出前講座の利用者は、女性が７割以上を占めている。参加者の年代は、３０代から６０代とさまざまである。家庭教育学級や女性学級で出前講座を利用する例が多いが、地域の女性団体が地元の公民館を会場として利用している。
- ・市民意向調査で、学習内容は「スポーツ・レクリエーション活動」が３７．８％と最も多く、次いで「地域での交流活動」２９．４％、「芸術・歴史・文化等の文化活動」が２７．９％となっている。学習方法は、「個人的な学習」４２．４％と「グループ・サークル活動」３６．３％が多く、「公共機関が開催する教室・行事等」は１８．８％となっている。学習活動に取り組む動機は、「趣味や教養を深める」が５７．６％、「健康・体力づくり」が３９．６％、「仲間づくり」が２９．２％となっている。
- ・真岡市立図書館においては、平成２１年度から指定管理者制度を導入して開館時間の延長や祝日の開館、貸出冊数の無制限化などのサービス向上を行っている。平成２７年度の利用者数５万９，００１人で、貸出し冊数は、２１万８，９１６冊であった。なお、特色ある取り組みとして、乳幼児から小学生までを対象とした「読み聞かせ事業」や外国人講師による「英語のおはなし会」の開催、季節に合わせた特設展示コーナーを月替わりで設置し、今話題の新刊本や季節に関連した本の紹介などを行っている。読書活動の推進や団塊世代向け「大人の映写会」等の事業を実施した。また、二宮図書館は平成２６年４月より指定管理者制度を導入し、利用者１万２，１５３人で、貸出し冊数は、５万５，３９６冊であった。なお、平成２７年度の真岡西分館図書室の利用者数２，２４０人で、貸出し冊数は、８，５８８冊であった。

補足説明参照：生涯学習館や生涯学習推進基本計画の後期計画など

27 年度の 評価結果	3. 施策の課題認識と改革改善の方向
	・生涯学習のきっかけづくりとしての市民講座については、市民のニーズを把握しながら、より多くの講座を開設して参加者を増やしていく。 ・市民講座の受講者には、講座終了後に定例使用団体（市公民館：62 団体、西分館：53 団体、山前分館：18 団体、大内分館：13 団体、中村分館：22 団体、二宮分館：37 団体、合計：205 団体）として、自立して活動していく方向で、今後も指導を図っていく。 ・出前講座のメニュー充実と各団体、事業所等への周知の強化を図っていく。また、生涯学習推進本部において、毎年、出前講座の実績を確認するとともに、新年度講座内容等を決定していく。 ・二宮コミュニティセンターを市民のふれあいの場としていくとともに、二宮分館の会議室・調理室・ギャラリーを活用した生涯学習の推進を図っていく。

■ 補足事項

1. 施策の成果水準とその背景 の補足事項

・出前講座の県内状況

講座数 1 位佐野市 244 講座、2 位さくら市 148 講座、3 位真岡市 139 講座、4 位日光市 137 講座、5 位那須塩原市 125 講座、6 位矢板市 108 講座、7 位小山市 100 講座

開催回数 1 位小山市 294 回、2 位那須塩原市 185 回、3 位栃木市 173 回、4 位日光市 168 回、5 位真岡市 158 回、6 位宇都宮市 146 回、7 位佐野市 132 回

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み の補足事項

・二宮分館図書室は、蔵書数が目標の 6 万冊に達したため、平成 26 年 4 月から真岡市立二宮図書館に名称を変更するとともに、真岡市立図書館と合わせて指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を図った。

・二宮文化会館は、平成 26 年 4 月から真岡市生涯学習館に名称を変更し、生涯学習の推進及び管理運営を図った。

・平成 22 年に策定した「真岡市生涯学習推進基本構想（平成 22 年～平成 31 年）・基本計画（平成 22 年～平成 26 年）」の前期計画が平成 26 年度に最終年度になったため、平成 27 年 3 月に前期計画を改定し、後期計画を策定するとともに、進行管理を行っている。

・真岡市公民館連絡協議会は、地域公民館（167 館）において、地域住民の理解と参加による積極的な活動を図るため、花いっぱい運動、親善女性バレーボール大会、地域公民館芸能発表会、研修会などを開催している。また、各地区地域公民館連絡協議会においても、公民館まつりをはじめ、各種事業や研修会を開催している。

・真岡家庭教育オピニオンリーダー会は、健全な家庭教育の推進をとおして、子どもの健全な育成を目指し、親の子育てにかかわる学習活動（コアラちゃんクラブなど）を支援し活動している。